

令和5年度おすすめ 人権教育・啓発用ビデオの紹介

バースデイ (37分) 企画：兵庫県

この物語の主人公はある日、娘から自認する性が男性だと告げられ、激しく動揺します。親としての感情ゆえに、はじめは拒絶してしまいましたが、性の多様性について少しずつ理解が進み、我が子の苦悩や願いに気づき、向き合っていくとします。互いの人権を尊重し、すべての人が自分らしく生きていける社会の実現をめざす人権啓発ドラマです。



性の多様性と LGBTQ+ ~誰もが自分らしく生きるために~ (28分)



この作品は「性のあり方」についての基礎知識をわかりやすく解説しながら、性的マイノリティの人たちへのインタビューを通して、性には様々な形があることや、性的マイノリティに対する誤解や偏見、カミングアウトについても伝えています。性のあり方について理解を深めることで、多様性を尊重した誰もが過ごしやすい社会について考えていくことができる作品です。

自由と人権を求める人々の叫び ウイグル編~私たちに問いかけること~ (27分)



中国北西部に位置する新疆ウイグル自治区に住むウイグル人への人権弾圧の実態について、在日ウイグル人の男性と、実際に収容施設に入れられた経験のあるウイグル人女性が語ります。彼らの魂の叫びを通し、自由と人権のあり方について考えていく作品です。

よかったら“想い”を聴かせて ~自分も相手も大切にするために~ (29分)

職場の誰ひとり取り残さないために、どういったコミュニケーションが必要なのか。「ハラスメント」「外国人」「働き方」「多様性」「障がい者」「部落差別」の人権テーマを切り口に、相手の想いを聴くこと・自分の想いを伝えること・お互いを受け止め合うことの大切さを登場人物と共に考えることのできる作品です。



あなたの笑顔がくれたもの ~周りから見えにくい障害・生きづらさ~ (37分)



主人公は、発達障害である幼馴染み、オストメイト（人工肛門保有者）の女子高生、祖母の介護をしている職場の後輩、それぞれ周りからは見えにくい生きづらさを抱えている3人との関わり合いによって、自分の思い込みに気づき、変わる決意をします。一人一人が考え方や感じ方も違う人間であるということを理解して向き合うことの大切さを学んでいくことのできる人権啓発ドラマです。

うしかまるの自分らしく生きること (10分)

お花が大好きなカー太郎は中吉にからかわれて「男なのに花がすきなんて、僕は変なのかな」と悩みます。無理をして男の子らしく振る舞おうとしますが、野に咲くさまざまな花のように、人もみんな違っていいんだと気がつきます。多様性について学ぶことのできるアニメーション作品です。

